

平成28年度 第1回文化財審議会会議

会 議 録

- 日 時 平成28年11月7日(月) 13:30～15:30
- 場 所 生涯学習センター 講座室B
- 出席委員 加瀬靖之会長、小川知至副会長、八木幸市委員、西山太郎委員、
依知川雅一委員、平野雅一委員、熊切達雄委員、田中増雄委員
(8名)
- 欠席委員 井上俊仁委員、渡辺重雄委員
(2名)
- 事務局 二村教育長、水口生涯学習課長、
生涯学習班 宇井統括、熱田主査、稗田主事
1. 開 会 宇井統括が進行
2. 教育長あいさつ 二村教育長
3. 役員(会長・副会長)選出
委員互選により、加瀬靖之会長、小川知至副会長 選出
4. 会長・副会長あいさつ 加瀬会長 小川副会長
5. 議 題 加瀬会長が議長として進行

(1)平成28年度文化財関係事業について

事務局から平成28年度文化財関係事業を報告。

(2)薬師寺・曼荼羅について

匠瑳市川辺薬師寺より、市指定文化財に指定されている「両界曼荼羅」の
修理と民間財団補助の推薦の要望があったことを報告。説明後、協議した。

【審議結果】 修理計画を進めることとした。文化財審議会による民間財団補
助の推薦を行うことについては、異論無しとした。

(3)その他

「西光寺駕籠」について

【審議結果】 駕籠の由来について裏付ける資料が無い場合、市指定文化財の
指定は行なわず、現状維持とする。

6. 現地視察 薬師寺・曼荼羅について

現地視察を行い、現況を確認した。

【審議結果】 修理計画を進めることとした。

7. 閉 会

協 議 内 容

議題(1)平成28年度文化財関係事業について

委員： ハリストス聖画修復の今後の見通しはどうなっているか。

事務局： 以前に視察頂いた聖画5枚の内、1枚は今年度で修復を終える予定である。引き続き、29年度で残りの4枚を修復する予定である。

委員： 多古田低地遺跡埋蔵文化財調査の出土品である、丸木舟の保存はどのような形で行うのか。

以前、出土した丸木舟は図書館の水槽に保管してあったと思う。

事務局： かなり大きなものであるため、保存・活用については今後、協議をしていくところである。現時点では、図書館の北側の水槽に保存することが有力である。

丸木舟については、更なる検討を行う所存である。

委員： 水温が保存状態に影響してくると思うので、水の入れ替えなどの対策を行って頂きたい。

委員： 後継者育成とはどのような補助を行っているのか。

事務局： 道具の修理や実演の支援として補助金を交付している。

委員： 後継者育成のために今後も積極的に取り組んでほしい。

議題(2)薬師寺・曼荼羅について

委員： 各々の負担割合についてはどのようなになるのか。

事務局： 通例に従うと、市の補助は総額の50%以内、残りを所有者負担と財団補助金ということになる。あくまでも市の補助は50%以内であるため、総額の半分以上が必ず交付されるという訳ではない。

委員： 文化財審議会としては修理を行って欲しい。民間財団の補助事業の推薦も行う方向で進めて欲しい。

(他の委員からも同意あり。)

議題(3)その他

・「西光寺駕籠」について

委員： 駕籠についてだが、誰が乗っていたかの裏付けが無ければ、修理をするにしても、文化財指定をするにしても難しいと思う。

委員： 市の文化財として指定するまでのものでは無いだろう。

再度、寺側から連絡があれば事務局に対応して頂ければいいのではないか。

委員： 博物館に寄贈してあるものは多いが、文化財指定は殆ど無い。駕籠については、ここで審議を終了ということではいかがでしょうか。

(他の委員からも同意有り。)

・アライグマ被害について

委員： 飯高檀林周辺にアライグマが出没し亀への被害が見られる。

市の方でも罠をかけてもらったが、捕まっておらず、このままでは、文化財への被害にも繋がる恐れがあるため、建造物の点検や駆除を行って欲しい。

また、関係部署への働きかけをお願いしたい。

委員： 建造物の点検の際に被害確認は行っているが、今のところ、被害は見受けられない。

事務局： アライグマ被害については、関係部署とよく調整を行って進めて行きたいと思う

詳細は別添会議資料による